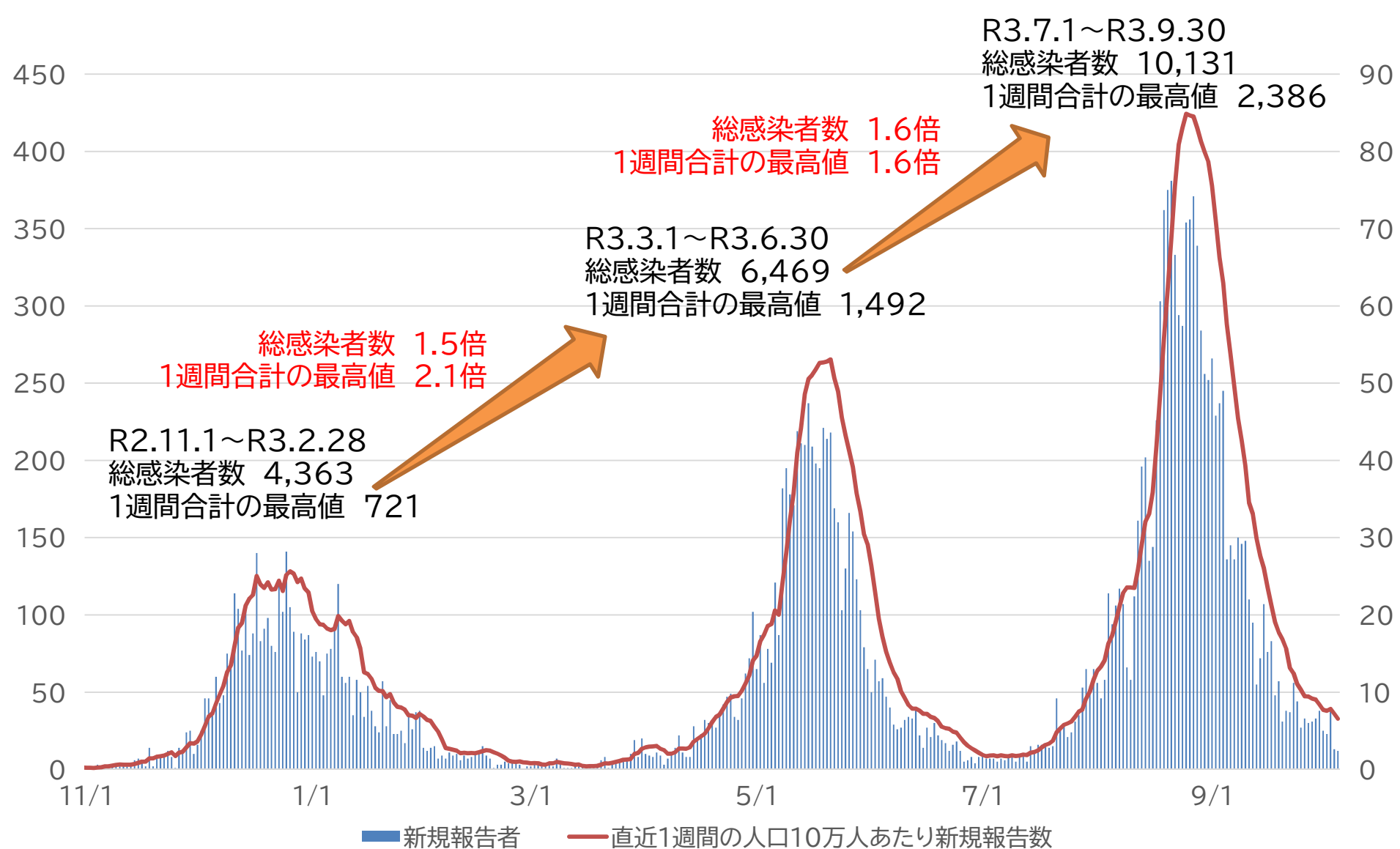


集中対策の終了と 今後の対策について

令和3年10月11日

感染状況



総感染者数 1.6倍
1週間合計の最高値 1.6倍

総感染者数 1.5倍
1週間合計の最高値 2.1倍

R3.7.1~R3.9.30
総感染者数 10,131
1週間合計の最高値 2,386

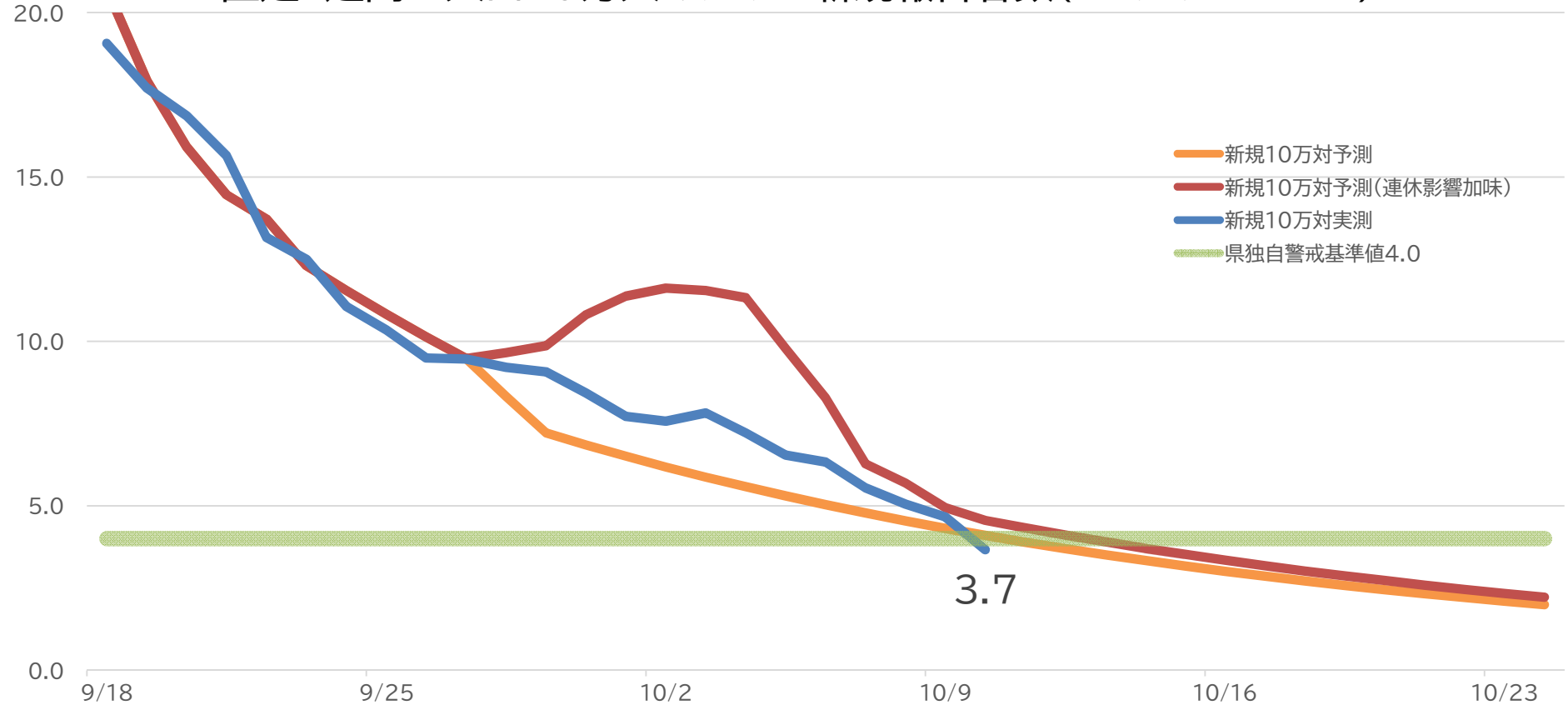
R3.3.1~R3.6.30
総感染者数 6,469
1週間合計の最高値 1,492

R2.11.1~R3.2.28
総感染者数 4,363
1週間合計の最高値 721

過去最大の感染拡大が収束に

感染状況

直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数(シミュレーション)



県独自警戒基準値4.0を下回っている
 感染状況はステージⅠ
 予定どおり10/14に集中対策を終了

集中対策終了に伴い解除する項目

■ 外出の半減, 出勤者7割削減

■ 広島市, 東広島市, 府中町, 海田町の重点区域

- ・飲食店の時短要請 → 認証申請は受付継続
- ・集客施設の時短働きかけ
- ・21時以降の外出制限, 勤務抑制の要請

■ イベントの時短働きかけ解除, 人数要件は継続

- ・(A)(B)による人数の, いずれか少ない方を限度
 - (A)人数上限…下記いずれか多い方
 - ・5,000人 か 収容定員の50%(10/30まで10,000人上限)
 - (B)収容率
 - 大声有り:50% 大声無し:100%

今後の基本的考え方

1) 継続的な感染対策の徹底によって、
感染状況を低いレベルで維持

⇒ マスク着用や感染拡大地域への往来注意等

2) その間、ワクチン接種率を高めていく

⇒ 特に感染の割合が高い若年層は接種を

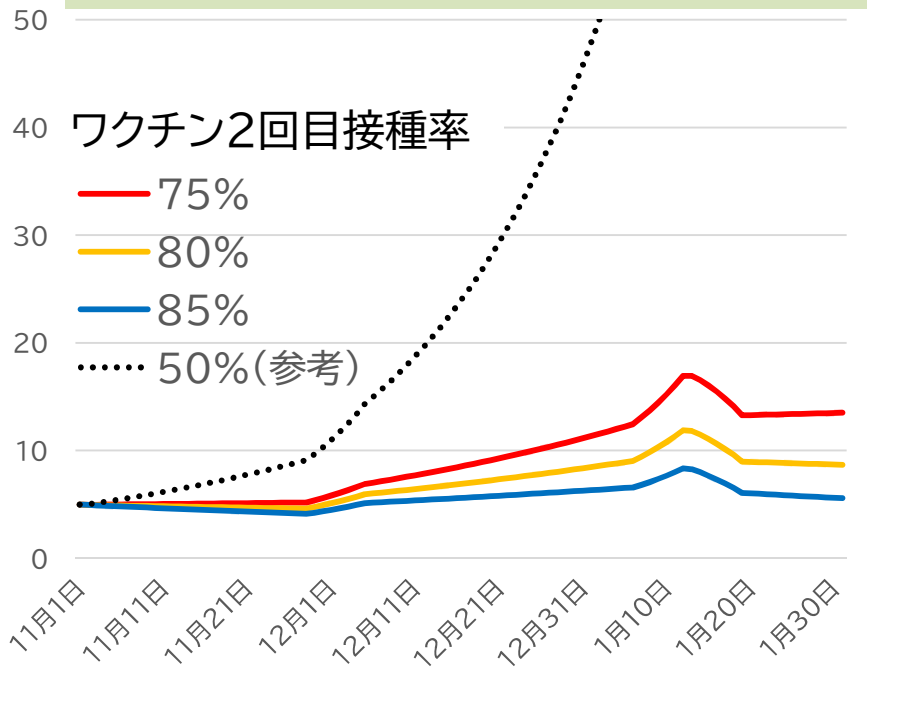


感染拡大を極力抑え込み、
強い行動制限をしない状態を維持

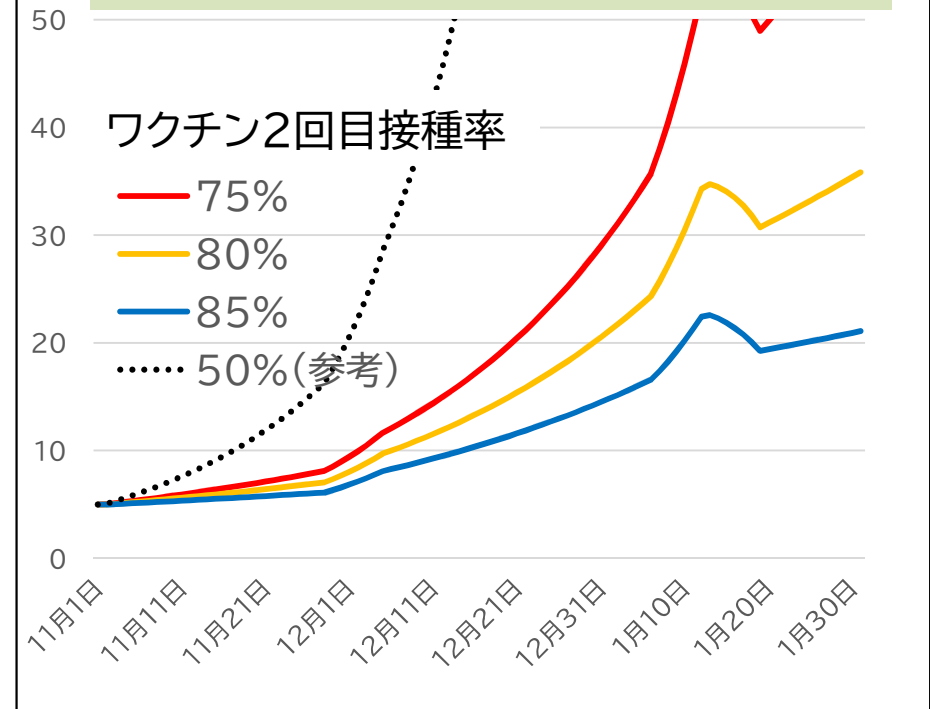
今後のシミュレーション

直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数

継続的に感染対策を徹底した場合



感染対策が緩んだ場合



※ワクチンの効果率:「感染者と接触しても感染しない(感染しにくい)」率を65%と固定

継続的な感染対策の徹底や、ワクチン接種の促進によって、
感染拡大を極力抑え込み、強い行動制限をしない状態を維持

感染症数理モデル

(東京大学・合原一幸特別教授と中国上海師範大学・郭謙教授等の共同研究グループ)

感染拡大は次の式に依存する

感染率

×

(1 - 検査による隔離率)

×

感染に関与する人口

×

(1 - ワクチン接種率)

《感染しやすさ》

・マスク, 手洗い, 3密回避など

《感染が見つかって隔離される割合》

・医療機関検査, 積極的疫学調査など

《外出する人の流れ》

・外出自粛, 時間営業短縮など

《ワクチンの接種状況》

・ワクチン接種

継続的な感染対策の徹底

ワクチン
接種

県民/事業者の皆様への要請

【継続的な感染対策の徹底】

- ・マスク着用, 手洗いなどを継続的に
- ・飲食は, 対策店で節度ある楽しみ方を
- ・体調に変化があれば, 医療機関で検査を
- ・感染拡大地域への往来は慎重に検討

【積極的なワクチン接種】

- ・特に接種率の低い若年層は接種を